

	重点目標	手 段	評価者				現 状 (○取組状況 / ●課題)	改善策等	学校関係者評価委員会の意見	総合 評価
			児童 生徒	保護者	職員	評議員				
1	確かな学力を身に付けた子どもの育成	(1) キャリア教育を意識した教育実践	3.2	3.1	3.2	3.4	<b>(共通)</b> ○ 資格取得や高校説明会を小学部へも案内し、小中一貫校ならではの取組をしている。 <b>(小学部)</b> ○ 田植え→稲刈り→餅つきの活動を通して、地域の方たちとの交流を深めている。 <b>(中学部)</b> ○ 学年ごとの「職場体験学習」や市の事業(職業人講話、地元企業での体験学習)を活用している。	<b>(共通)</b> ・ 中学校卒業時の進路情報を小中職員で共有し、小学校段階から義務教育の出口を意識した指導をする等、一貫校ならではの取組を積極的に行っていきたい。	・ 一貫校の特色が出ている。 ・ 数学、英語等の検定の推進を積極的に行い一貫校ならではの取組をさらに目指して欲しい。 ・ 資格取得や高校説明会の小学部への案内は大変良いことである。 ・ (田植え、稲刈り、餅つきのように) 地域との連携も良いと思う。 ・ 田植え→稲刈り→餅つきを一貫して行っている学校は少ないと思うので貴重な経験と考えるが、もう少し保護者の協力が必要。何故学習に取り入れているかの理解が必要。 ・ 「職場体験学習」は、次のステップに進む段階にきている生徒にとってきわめて貴重な学習である。今後も続けていただきたい。 ・ 地域の広報等に積極的に学校の情報を載せてもらっていること、地域の行事への参加等うれしく思う。	3
		(2) 粘り強く学習に取り組む子どもの育成に向けた指導の充実	3.0	2.8	3.1	3.3	<b>(共通)</b> ● 児童生徒が、「何事にも根気強く取り組んでいる」と感じている保護者は半数くらいしかない。学習意欲に個人差がある中、個別指導を充実していくことが求められる。	<b>(共通)</b> ・ これまで同様、学習課題の提出等家庭との連携を図りながら、また小中学部で情報を共有しながら、根気強く指導を繰り返していきたい。	・ 親と子どもが協力して学習を考え、その情報を学校へ発信して学習意欲を高めて欲しい。 ・ 何事も根気強く取り組めない背景は何なのか？学校側が個別指導を充実することとは別に、家庭でのフォローが一番大事。 ・ 先生方の取組は、素晴らしい。家庭での勉学の躰が不足しているのではないかと思う。	3
		(3) 9年間をとおした計画的な外国語活動・外国語指導の充実	3.1	2.9	3.1	3.7	<b>(共通)</b> ○ 小中一貫校の良さを生かし、中学部の職員が小学部高学年に「乗入授業」を行っている。	<b>(共通)</b> ・ 小学部に導入されている「外国語活動サポーター」や小中の授業をサポートしてくれる「ALT」との連携も図り、充実した外国語活動を展開していきたい。	・ 9年間の長い協同作業の中、小中一貫校の良さを十分出している。 ・ 現代社会にあつて、外国語(特に、英語力)は大事である。	3
		(4) 言語活動を意識した指導の充実(読書活動、作文発表会、新聞への積極的な投稿等)	2.9	2.9	2.9	3.2	<b>(小学部)</b> ○ 俳句や短歌を新聞や作品募集等に積極的に投稿している。 <b>(中学部)</b> ○ 市の事業である「全ての教室へ新聞を」で届く各学級に配付される新聞をスピーチの材料に生かす等、有効活用している。	<b>(小学部)</b> ・ 全児童、新聞に掲載されるように引き続き指導していきたい。 <b>(中学部)</b> ・ くろいわ祭で展示発表する職場体験学習の壁新聞製作に、毎日届く新聞のレイアウトを参考にさせる等、「全ての教室へ新聞を」の事業を今以上に活用していきたい。	・ 今後も期待している。 ・ メディアへの作品投稿は、学校の PR も含めて大変良い。地域でも、楽しみにしている人は多い。 ・ テレビ・携帯等、メディアの充実が背景にあるのか？生徒だけでなく、大人も含めて活字離れが進んでいる様に見える。新聞活用は非常に良い。 ・ 子どもたちの作品が載るのを楽しみにしている。中学部のポスター等には、いつも感嘆している。	3
		(5) 個に応じた指導の充実(家庭教育・個別支援)	3.1	3.1	3.3	3.5	<b>(共通)</b> ● 多くの児童生徒が「学力」を身に付けたいと思う一方で、「自ら進んで勉強に取り組んでいる」という評価が低い児童生徒も多い。	<b>(共通)</b> ・ 保護者との連携を図り、家庭での時間の使い方(学習時間の確保)や学習に集中できる環境づくり等、個に応じた指導を行っていきたい。	・ 保護者も学力という点でもう少し努力が欲しい。 ・ 「自ら進んで勉強に取り組めない」背景に何があるのか？例えば、家庭教育学級等で、保護者を含めて模索し、学習に集中できる環境づくりに活かすことも必要。(全てを学校任せにしない。) ・ 先生方の取組は、素晴らしい。家庭での勉学の躰が不足しているのではないかと思う。	3

	重点目標	手 段	評 価				現 状 ( ○取組状況 / ●課題 )	改善策等	学校関係者評価委員会の意見	総合 評価
			児童 生徒	保護者	職員	評議員				
2	人間性豊かな子どもの育成	(1) 人権教育の充実	3.2	3.0	3.1	3.2	<b>【共通】</b> ○ 今年度で3年目を迎えた、県指定の「ピア・サポート（人間関係づくり）推進校」としての取組を通し、仲間とともに支え合う人権感覚をもった人づくりを進めている。	<b>【共通】</b> ・ 仲間同士で 相互に支え合う「ピア・サポート活動」は、思考力・判断力・行動力を培う場面が随所に盛り込まれている。 本校では、この活動を研究主題として取り上げ、互いを思いやる気持ちを持ちながら自立を目指す児童生徒の育成を目指し、理論研修を行ったり、小中別の研究授業を行ったりしている。 この研究から、「思いやりの心」や「他者と協力する姿勢」を培っていき、子どもたちの内面的な成長につなげていきたい。	・ 良く頑張っていると思う。素直な子どもが育っている。 ・ 外部からの所見ではあるが、小学部・中学部共に仲間意識は強く、互いを思いやりながら学校生活を送っている。特に中学生は好感がもてる。	3
		(2) 家庭と連携した基本的な生活習慣の育成（あいさつ・返事・清掃・時を守る指導）	3.3	3.1	3.2	3.3	<b>【共通】</b> ○ 学校保健委員会（児童生徒、保護者参加）において、「メディアコントロール（生活リズムの改善）」を取り上げ、家庭での時間の使い方や健康について考える場を設定している。 ● 「大きな声であいさつできているか」の問いに対し、児童生徒（8割）、保護者（6割）、教職員（7割）と評価が分かれている。継続した指導の必要性を感じる。		・ 朝のあいさつは、その日の感情なのか差がある。地域の人へのあいさつは、声が小さい時もある。 ・ 元気な声であいさつは非常に感じが良いが小学生はその日の体調・気分にも左右されると考える。全体的には概ね良好と思う。 ・ 「自分で考え、判断し、行動する力」について、保護者・教職員の評価が5割弱なのは他の学校と比較してどうなのか気になるが、考える力、判断する力、行動する力はいずれも自立に不可欠な力であり、義務教育中に身に付けさせて欲しい。 ・ 小学部は、地域でのあいさつの声が小さい。恥ずかしいのでしょうか。 ・ 中学部のあいさつは、すばらしい。	3
		(3) 道徳の時間の充実	3.2	2.9	3.1	3.2	<b>【共通】</b> ● 児童生徒、保護者、教職員の三者共に、「自分で考え、判断し、行動する力」を身に付けたい（身に付けさせたい）力としてあげている。また、保護者、教職員の評価では5割弱が、それらの力が身に付いていないという結果が出ている。			3

	重点目標	手 段	評 価				現 状 ( ○取組状況 / ●課題 )	改善策等	学校関係者評価委員会の意見	総合 評価
			児童 生徒	保護者	職員	評議員				
3	たくましい体の育成	(1) 運動の生活化・日常化（体育の時間、遊び、部活動、新体力テストの活用等）	3.3	2.8	3.1	2.7	<b>（小学部）</b> ● 多くの児童が、昼休みや放課後子ども教室の際、グラウンド中庭・体育館で体を動かし、元気よく遊んでいる。一部室内で読書をするなど、運動を敬遠している児童も見受けられる。 <b>（中学部）</b> ○ 全生徒が卓球部に所属しており高い目標を設定し、熱心に活動に取り組んでいる。練習試合を多く計画するなど、練習内容の改善を図り、活動のレベルが向上してきている。 また、地区・県の総合大会（陸上競技の部）に、2名の生徒が参加し、うち1名が県の入賞を果たしている。	<b>（小学部）</b> ・ 外遊びが、一部の児童の得意な遊びに偏らないように、いろいろな遊びを取り入れ、多くの児童にとって体を動かす一機会としていきたい。 <b>（中学部）</b> ・ 生徒が部活動に対し、自主的に取り組める環境整備の支援をすると同時に、人間形成の場として指導していきたい。	・ 放課後、大きな声で元気に体を動かしている。 ・ 今年度は、積極的に練習試合を行っていて少人数だが練習、あいさつも良く頑張っている。 ・ 小学校の1年生から6年生では、体力・思考力に差があり、特に小規模校では全員が一緒に遊ぶのが難しいが、遊びは子どものリフレッシュであり、活力源でもある。できるだけ体を動かすよう指導して欲しい。 ・ 仕事から、中学生と話をする機会もある。常々言っているのは「高い目標をもち、頑張れ！」結果も大事であるが、一番大事なのは何に対しても努力をしたか否かである。小規模校でもやれば結果がついてくる。 ・ 元気良く遊ぶ姿が見られる。 ・ 部活動、頑張っていると思う。保護者も協力的だと思う。	3
		(2) 危険予知・危機回避能力の育成（交通安全教室・避難訓練の充実）	3.7	3.2	3.7	4.0	<b>（共通）</b> ○ 毎月の安全点検を実施し、改善が必要な箇所を確認した上で補修等を行っている。また、定期的に避難訓練（火災、地震、不審者等）を実施し、児童生徒が安全に過ごせるように努力している。 ○ 市の教育委員会から入った不審者情報については、保護者に確実に伝わるよう文書を作成し配付している。	<b>（共通）</b> ・ 避難訓練については、関係機関との連携を図り、より効果的な計画を立てていきたい。 また、大雨を想定した緊急時の集団下校等の具体策についても検討し児童生徒の危機管理意識の向上につなげていきたい。	・ よくできている。 ・ 大変良い。 常日頃から体を動かしていないと、咄嗟の時に自分の身を守れないことを指導して欲しい。	4
		(3) 保健・食に関する指導の充実（弁当の日、早寝・早起き・朝ごはん）	3.3	2.8	3.1	2.7	<b>（共通）</b> ○ 毎月、保健室だよりを発行し心身の健康に役立つ情報を児童生徒や保護者に提供し、啓発して。 ○ くろいわ祭に合わせて「弁当の日」を設定している。充実した取組となるように、事前指導を徹底したり、小中の交流を図ったり、食育の推進に努めている。 ○ 小中一貫校ならではの取組である「健康な体づくりプロジェクト（肥満の個別指導）」を実施している。	<b>（共通）</b> ・ 毎朝の健康観察、来室状況、生活アンケート、健康相談等で、児童生徒の健康状態をしっかりと把握し、生活リズムが崩れないように、きめ細かな指導を継続していきたい。 ・ 積極的な保健指導を行い、熱中症の予防等を含め、問題の未然防止に努めていきたい。	・ 弁当の日を今後も続けて欲しい。親子のふれあいもあり、食を考える良い時間になっている。 ・ 肥満の個別指導は、良く考えている。 ・ 子どもたちにとって最も大切な分野であるが、良く指導されている。 ・ 早寝・早起き・朝ごはん・あいさつは生活の基本であるが、これは家庭でのしつけ義務でもある。 ・ 徹底した指導がされていると思う。	3

	重点目標	手 段	評 価				現 状	改善策等	学校関係者評価委員会の意見	総合評価
			児童生徒	保護者	職員	評議員				
4	家庭・地域に信頼される学校づくり	(1) 教職員の資質の向上（校内研修、コンプライアンス）	3.0	3.1	3.4	3.7	<b>（共通）</b> ○ 毎月のコンプライアンス点検は勿論、長期休業中にはセクハラ・パワハラ防止の研修を行うなど、法令遵守に対する意識の向上に努めている。	<b>（共通）</b> ・ 教育公務員としての自覚と責任のもと信頼される学校づくりのために今後も様々な機会を通して資質向上に努めていきたい。 また、常日頃から職員間のコミュニケーションを図り、風通しの良い明るい職場づくりに努め、黒岩小中学校から違反者等を出さない雰囲気作りに努めたい。	・ 職員間の関係は良くできていて、小中の連携も非常にできていると思う。 ・ よろしく願います。	<b>3</b>
		(2) 学校から情報発信（学校便り、学級通信、ホームページ）	3.4	3.2	3.3	3.5	<b>（共通）</b> ○ 学級通信の定期発行、学校便りの月末の発行及びホームページの更新を行っている。	<b>（共通）</b> ・ 地域に根ざす学校を意識し、今後も「学校だより」、「学級通信」、「PTA新聞」や「ホームページ」を通し、学校からの情報発信を積極的に行ってきたい。 ・ 学校評価（保護者のアンケート結果）や学校関係者評価を確実に公表し、その結果を有効活用していきたい。	・ 時々、ホームページを見ている。「小中一貫」と「地域の学校」のアピールを積極的 に！ ・ 学校側も大変な労力と思いますが、よろしく願います。 ・ 地域の広報等に積極的に学校の情報を載せてもらっていること、地域の行事への参加等うれしく思う。	<b>3</b>
		(3) 家庭、地域へのきめ細かな対応（相談活動、地域行事への参加）	3.4	3.3	3.4	3.6	<b>（共通）</b> ○ 黒岩地区連絡協議会等に参加し保護者や地域の方からのご意見・ご要望など、貴重な情報を得る努力をしている。 ● 地域の行事に積極的に参加しているという意識の児童生徒は7割弱という状況である。常日頃からお世話になっている地域に対し、感謝の気持ちを持てる指導の必要性を感じる。	<b>（共通）</b> ・ 青少協との連携を図り、黒岩地区ならではの河川清掃や秋祭り、歩こう会等、地域の行事にさらに積極的に参加するように促していきたい。 ・ 学校に対する地域の声を大切にしそれに応える努力をしていきたい。より開かれた学校づくりを目指す。	・ 地域との交流が大事。 ・ 地域の行事にも積極的に参加している。小学生ももっと頑張って参加して欲しい。 ・ 児童生徒にとって、より興味のある行事を地域がつくる必要があると考える。 「学校ありて、地域あり」の考えが、少しずつ地域に浸透してきたが、まだまだである。 少子化が進む中で、全国で信じられないような事件に子どもが巻き込まれている。背景は何なのか？ PTA、地域が一体となって、将来の担い手を守っていく必要がある。 ・ 先生方もお休みにかかわらず地域の行事に参加してもらって感謝しています。	<b>3</b>

### 【学校評議員の皆さんが、これから子どもたちに身に付けて欲しい力】

- ・ 学業成績と体力の向上も大事であるが、忍耐力をつけて欲しい。どんな状況でも堪え忍ぶ力は、将来の生きる力になると考える。
- ・ 学力はもちろんだが、体力づくり。そして、何よりも個を大切に作る人間づくり。
- ・ 感謝の気持ち。

### 【次年度の方向性についての校長所見】

- ・ 本年度の学校経営キーワードである『『自立』学力、体力、人間力を高めましょう。』を様々な場面で児童生徒に意識させ、学習面・生活面での成長につなげていく。  
 具体的には、児童生徒、保護者、教職員の三者が共に身に付けたい（身に付けさせたい）力としてあげている「自分で考え、判断し、行動する力」について、「ピア・サポート活動（県のコミュニケーション能力育成事業指定校、H29～R1年度）」を取り入れた学習指導・生活指導をさらに充実させていく。
- ・ 黒岩小中学校ならではの行事（体育祭、くろいわ祭、田植え・稲刈り・もちつき 等々）を通して、保護者・地域との連携を図り、「地域に根ざした学校」・「開かれた学校」づくりに努めていく。
- ・ 毎月のコンプライアンスチェックを確実に行之、研修の充実を図りながら、教育公務員としての自覚を持ち、地域から信頼される小中一貫校づくりに努めていく。